

報道発表資料
平成15年7月12日
気象庁

「ゴーズ9号」の地上処理の不具合について

本日5時(日本時間)より気象衛星センター(東京都清瀬市)のゴーズ9号のデータを処理する計算機で不具合が発生し、ゴーズ9号のデータの配信が一部止っていましたが、10時のデータから復旧しました。

SDUS(国内・国外の小規模利用局)向けのひまわり経由のWEFAXは正常に配信されています。

障害の原因は、処理ソフトの不具合でした。

配信されなかったデータは以下のとおりです。

- 1 気象庁本庁、気象業務支援センターを經由して配信している国内の報道機関、気象事業者等向けのMDUSバックアップデータ
- 2 気象庁本庁を經由して配信している各国気象機関等向けのMDUSバックアップデータ

なお、本日4時にも欠測となっていましたが、これは米国側の地上システムの不具合であり、直ちに復旧したとの連絡が入っています。